

8.13. 人と自然との触れ合いの活動の場

8.13. 人と自然との触れ合いの活動の場

8.13.1. 飛行場の存在による主要な人と自然との触れ合いの活動の場

(1) 調査

1) 調査項目

人と自然との触れ合いの活動の場の調査項目及び調査状況は、表 8.13.1-1 に示すとおりである。

表 8.13.1-1 調査項目及び調査状況

調査項目	文献その他の資料調査	現地調査
人と自然との触れ合いの活動の場の概況	○	—
主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況	—	○

2) 調査地域

対象事業実施区域周辺とし、図 8.13.1-1 に示す地域とする。

3) 調査方法

7. 人と自然との触れ合いの活動の場の概況

(7) 文献その他の資料調査

観光案内図等による情報収集並びに当該情報の整理及び解析による方法とした。

1. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況

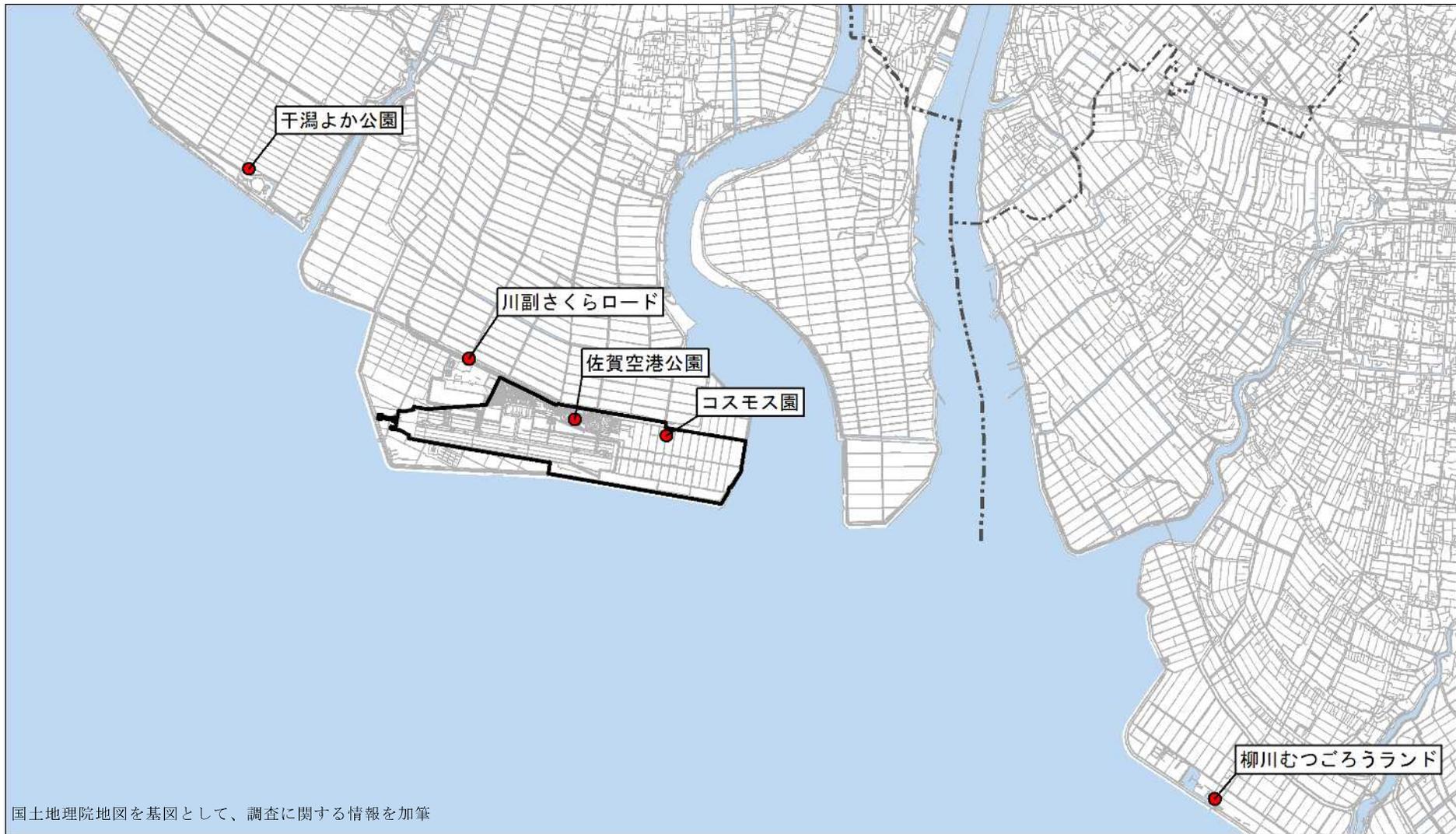
(7) 現地調査

7) 調査地点

「面整備事業環境影響評価技術マニュアル」(平成 11 年 建設省)によると、『標準的な面整備事業において、「主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る影響を受けるおそれがあると認められる地域」は、事業実施区域及びその周辺約 500m 程度と考える』とされており、事業実施区域及びその周辺約 500m 程度に位置する調査地点として、佐賀空港公園及び川副さくらロード、コスモス園を選定した。

また、公園利用者の快適性及び利便性(アクセス性)への影響の程度を確認するため、柳川むつごろうランド及び干潟よか公園についても調査地点として選定した。

この 5 地点の調査地点は、図 8.13.1-1 に示すとおりである。



国土地理院地図を基図として、調査に関する情報を加筆

図 8.13.1-1 調査地点位置図

凡例

- 対象事業実施区域
- 調査地点

1:60,000



イ) 調査日

人と自然との触れ合いの活動の場の調査時期は、夏季、秋季、春季の3季とした。
各調査時期の調査日は、表 8.13.1-2 に示すとおりである。

表 8.13.1-2 調査時期及び調査日

調査時期	調査日	調査地点	天気
夏季	令和6年(2024年)8月3日(土)	佐賀空港公園、川副さくらロード、柳川むつごろうランド、干潟よか公園	晴れ
秋季	令和6年(2024年)10月20日(日)	佐賀空港公園、川副さくらロード、柳川むつごろうランド、干潟よか公園	晴れ
	令和6年(2024年)11月4日(月・祝日)	コスモス園	晴れ
春季	令和7年(2025年)3月30日(日)	川副さくらロード	曇り
	令和7年(2025年)5月3日(土)	佐賀空港公園、柳川むつごろうランド、干潟よか公園	晴れ

ウ) 調査方法

調査方法は各調査地点において、現地踏査(カウント、写真撮影)及び聞き取り調査を実施し、利用者数、利用形態を把握した。また、既往資料により、利用環境の状況等を把握した。調査時間帯は、8時～20時とした。

注1. 調査終了時間は、季節による日没時間帯に合わせて、19時から20時の範囲とした。

4) 調査結果

7. 人と自然との触れ合いの活動の場の概況

(7) 文献その他の資料調査

対象事業実施区域及びその周囲では人と自然との触れ合いの活動の場が26地点確認された。

調査結果の詳細は、「第3章 対象事業実施区域及びその周囲の概況 3.1. 自然的状況 3.1.6. 景観及び人と自然との触れ合いの活動の場の状況 (2) 人と自然との触れ合いの活動の場」に示すとおりである。

4. 主要な人と自然との触れ合い活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況

(7) 現地調査

ア) 利用の状況

佐賀空港公園、川副さくらロード、コスモス園、柳川むつごろうランド、干潟よか公園における利用の状況は、表 8.13.1-3 に示すとおりである。

いずれの地点も主な移動手段は自動車であり、バイク、自転車、徒歩等は少数であった。利用状況は、佐賀空港公園が遊び、散策、休憩等、川副さくらロードが散策、休憩等、コスモス園が散策、休憩等、柳川むつごろうランドが遊び、釣り、休憩等、干潟よか公園が遊び、施設利用、休憩等、であった。

表 8.13.1-3 人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況

単位：(組)

調査地点	調査時期	移動手段				合計	利用状況
		自動車	バイク	自転車	徒歩等		
佐賀空港公園	夏季	58 (91%)	4 (6%)	2 (3%)	0 (0%)	64	遊び、散策、 休憩等
	秋季	150 (85%)	14 (8%)	12 (7%)	0 (0%)	176	
	春季	166 (84%)	23 (11%)	7 (4%)	1 (1%)	197	
川副さくら ロード	夏季	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2	散策、休憩等
	秋季	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3	
	春季	737 (93%)	24 (3%)	14 (2%)	17 (2%)	792	
コスモス園	秋季	862 (98%)	10 (1%)	5 (1%)	0 (0%)	877	散策、休憩等
柳川むつごろう ランド	夏季	67 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (1%)	67	遊び、釣り、 休憩等
	秋季	181 (99%)	0 (0%)	2 (1%)	0 (0%)	183	
	春季	254 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	254	
干潟よか公園	夏季	133 (94%)	4 (3%)	3 (2%)	2 (1%)	142	遊び、施設利用、 休憩等
	秋季	310 (97%)	3 (1%)	4 (2%)	0 (0%)	317	
	春季	411 (98%)	4 (1%)	8 (1%)	0 (0%)	423	

注1. ()内は、移動手段別の%を示している。

1) 利用環境の状況

調査地点における利用環境の状況は、表 8.13.1-4(1)から(5)に示すとおりである。

表 8.13.1-4(1) 利用環境の状況(佐賀空港公園)

<p><概要> 事業実施区域内に位置する佐賀空港公園は、広さ約 4ha の敷地に、吉野ヶ里遺跡を模した物見やぐら、アスレチック施設、遊歩道などがある。自然いっぱいのスペースで、思い思いに過ごす憩いの場所としても最適の公園である。また、戦後初の国産旅客機 YS-11 が一般公開及び展示されており、直接機体にも触れることができる。</p>
<p><利用状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用形態 遊具利用、観光、休息、生物採集、散歩等 ・利用期間 通年 ・利用時間 全時間帯 ・施設 駐車場、トイレ
<p><アクセス性> 自家用車:佐賀大和 IC より約 50 分 バス:佐賀市営バス直行便「佐賀駅バスセンター」から「佐賀空港」約 30 分</p>
<p><地点の状況></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>バスケットコート</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>遊具</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>公園</p> </div> </div>

表 8.13.1-4(2) 利用環境の状況(川副さくらロード)

<p><概要> 事業実施区域及びその周辺約 500m 程度に位置する川副さくらロードは、佐賀空港の開港に伴い、関東川副町人会から寄付された約 400 本の桜並木が、佐賀空港と平行して約 1.7km 続いている。</p>
<p><利用状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用形態 観光、休息、散歩等 ・利用期間 通年 ・利用時間 全時間帯 ・施設概要 なし
<p><アクセス性> 自家用車:佐賀大和 IC より約 50 分</p>
<p><地点の状況></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>春季の状況(東から西を望む)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>春季の状況(西から東を望む)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>夏季の状況(東から西を望む)</p> </div> </div>

表 8.13.1-4(3) 利用環境の状況(コスモス園)

<p><概要> 事業実施区域内に位置するコスモス園は、秋になると広大な敷地にコスモスやソバの花、ひまわりが咲いており、幸せの鐘やマルシェなども楽しむことができる。</p>
<p><利用状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用形態 観光、休息、散策等 ・利用期間 令和6年(2024年)10月13日～令和6年(2024年)11月4日 ・利用時間 午前10時～午後5時 ・施設概要 駐車場、トイレ
<p><アクセス性> 自家用車:佐賀大和ICより約50分</p>
<p><地点の状況></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>コスモス畑</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>幸せの鐘</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>園内駐車場</p> </div> </div>

注1. 令和6年(2024年)10月13日～令和6年(2024年)11月4日は、令和6年度(2024年度)における利用期間を示す。

表 8.13.1-4(4) 利用環境の状況(柳川むつごろうランド)

<p><概要> 柳川むつごろうランドは、広さ約5.1haの敷地に、有明海や干拓地を活用した各種体験ができる拠点施設があり、令和5年(2023年)4月30日には、子育て支援の一環として、大型複合遊具が設置されている。また、時期によってはキャンプやバーベキューなどを楽しむことができる。</p>
<p><利用状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用形態 遊具利用、観光、休息、バードウォッチング、生物採集、散歩、サイクリング等 ・利用期間 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合、火曜日)及び年末年始以外 ※大型複合遊具の利用については年中無休 ・利用時間 午前9時～午後5時 ※大型複合遊具は時間制限なし ・施設概要 駐車場、トイレ、観光施設等
<p><アクセス性> 自家用車:佐賀大和ICより約1時間 東背振ICより約1時間 徳益ICから約15分 バス:柳川市コミュニティバス「中六十丁公民館」下車、徒歩15分</p>
<p><地点の状況></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>遊具</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>広場</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>施設本館と駐車場</p> </div> </div>

表 8.13.1-4(5) 利用環境の状況(干潟よか公園)

<p><概要></p> <p>干潟よか公園は、広さ約 8.8ha の敷地に、芝生広場や草スキー場など家族で楽しめる大型遊具が充実している。また、江戸後期の民家を再現した「紅楽庵」があり、佐賀平野独特の珍しい屋根造りで訪れた人の目を引きつける。周辺には、広大な干潟を一望できる東与賀海岸展望台や、ムツゴロウ・シオマネキなどの豊かな自然を観察できる東与賀海岸がある。秋季には、シチメンソウが有明海岸を美しく真っ赤に染め上げ、同時期に「シチメンソウまつり」も開催されている。</p>
<p><利用状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用形態 遊具利用、観光、休息、バードウォッチング、生物採集、散歩、サイクリング等 ・利用期間 通年 ・利用時間 午前9時～午後5時 ・施設概要 駐車場、トイレ、展望台
<p><アクセス性></p> <p>自家用車:佐賀大和 IC より約 40 分</p>
<p><地点の状況></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>遊具</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>展望台</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>芝生広場</p> </div> </div>

ウ) イベントの状況

佐賀空港、川副さくらロード、コスモス園、柳川むつごろうランド、干潟よか公園において、開催されたイベントを把握するにあたり、ホームページ等で公表されている情報収集を実施した。対象とした時期は、令和元年度(2019年度)～令和6年度(2024年度)とした。

調査結果は、表 8.13.1-5(1)から(7)に示すとおりである。

表 8.13.1-5(1) 佐賀空港公園で開催されたイベント

主催者	名称	開催期間	主な活動概要	備考
JA グループ佐賀	さが農業まつり	令和2年(2020年)2月 令和6年(2024年)2月	お祭り	令和2年度(2020年度)～令和4年度(2022年度)は新型コロナウイルスの影響により休止

表 8.13.1-5(2) 川副さくらロードで開催されたイベント

主催者	名称	開催期間	主な活動概要	備考
南川副まちづくり協議会・福祉部会	さくらウォーキング	令和5年(2023年)3月 令和6年(2024年)3月	ウォーキング	-
南川副まちづくり協議会・福祉部会	春ウォーキング	令和5年(2023年)4月	ウォーキング	-

表 8.13.1-5(3) コスモス園で催されたイベント

主催者	名称	開催時期	主な活動概要	備考
南川副まちづくり協議会 地域活性化部会	佐賀空港コスモス祭り	令和5年(2023年)10月	お祭り	-

表 8.13.1-5(4) 柳川むつごろうランドで催されたイベント

主催者	名称	開催時期	主な活動概要	備考
柳川むつごろう会	くもで網体験	毎年4月～10月	体験学習	-
	ムツかけ体験	毎年4月～10月	体験学習	-
	海苔すき体験	毎年11月～2月	体験学習	-
	ぶどうの収穫体験	毎年8月～9月	体験学習	-
	塩づくり体験	通年	体験学習	-
	泡マルシェ	令和3年(2021年)11月	お祭り	-
	スイートコーン祭り	令和4年(2022年)10月	お祭り	-
	柳川むつごろうランドにぎわいイベント	令和6年(2024年)12月	お祭り	-
いちごフェス	令和7年(2025年)4月	お祭り	-	

表 8.13.1-5(5) 干潟よか公園で開催されたイベント

主催者	名称	開催時期	主な活動概要	備考
東よか干潟 ビジターセンター 「ひがさす」	東よか干潟の魅力を次世代に伝承する	令和3年(2021年)10月	・東よか干潟についての講演会	-
	干潟よか公園で森と海のつながりを体感し学習する 森～川～海へプロジェクト	令和3年(2021年)11月	・自然観察 ・ワークショップ	-
	“ひがさす”から初日の出を見よう！2022	令和4年(2022年)1月	・初日の出鑑賞	-
	厄介者の竹を有明海の牡蠣礁復活に活かす	令和4年(2022年)2月	・これまでの経緯と有明海での環境改善効果についての講演会	-
	研究発表会	令和4年(2022年)4月	・東よか干潟ワイズユース推進事業費補助金を活用した研究発表会	-
	手すき海苔体験と防災食を食べてみよう！	令和4年(2022年)5月	・手すき海苔体験	-
	おはなし会「ひがたださいき」	令和4年(2022年)6月	・音読会	-
	農業、漁業等に貢献する佐賀市の下水道	令和4年(2022年)10月	・下水道についての講演	-
	有明海の魅力を観光資源として売り出す方策を考える	令和4年(2022年)12月	・交流塾	-
	東よか干潟で冬の野鳥を観察しよう！	令和5年(2023年)1月	・野鳥観察	-
	小水力発電事業で一歩先行く地域づくりを目指す	令和5年(2023年)2月	・小水力発電事業についての講演会	-
	成果発表会	令和5年(2023年)2月	・東よか干潟ワイズユース推進事業費補助金を活用した成果発表会	-
	公益財団法人 鍋島報効会 徴古館 × ひがさす「古地図で読み解く佐賀城下と有明海のよもやま話」	令和5年(2023年)7月	・佐賀の文化や有明海の環境についての講演会	-
	東よか干潟ウォーキング	令和6年(2024年)3月	・ウォーキング	-
	はばたくズグロカモメを飛ばそう！	令和6年(2024年)4月	・折り紙作り体験	-
がたどろだんご教室	令和6年(2024年)5月 令和6年(2024年)11月	・泥団子作り体験	-	

表 8.13.1-5(6) 干潟よか公園で開催されたイベント

主催者	名称	開催時期	主な活動概要	備考
東よか干潟 ビジターセンター 「ひがさす」	シギチフェス in 東よか干潟	令和3年(2021年)4月 令和4年(2022年)5月 令和5年(2023年)5月 令和6年(2024年)5月	<ul style="list-style-type: none"> 野鳥の観察 東よか干潟 ウォーキング 干潟に入ろう! がた体験 	-
	干潟の生き物 モビールを作ろう!	令和3年(2021年)5月	<ul style="list-style-type: none"> モビール作り体験 	-
	ひがさす field School	概ね毎月開催	<ul style="list-style-type: none"> 凧作り体験 どろだんご作り 体験 生物観察、珪藻 類観察、渡り鳥 観察 プラスチックゴミ を使った工作 体験 天体観測 佐賀の郷土玩具 絵付け体験 ムツゴロウの鑑 賞・調理・試食 体験 	令和3年(2021 年)から令和6年 (2024年)にかけ て計24回実施
	ひがさす1周年記念 イベント	令和3年(2021年)10月 令和3年(2021年)11月	<ul style="list-style-type: none"> 潟スキー体験 祭り 	一部、東与賀まち づくり協会共催

表 8.13.1-5(7) 干潟よか公園で開催されたイベント

主催者	名称	開催時期	主な活動概要	備考
NPO 法人有明海ぐるりんネット	科学は有明海の環境問題にどこまで迫れたか～データ収集と科学的予測の限界について～	令和4年(2022年)4月	・有明海の環境問題についての講演会	-
	三重津海軍所跡の出土遺物をシンクロトロン光で解明	令和4年(2022年)6月	・磁器の種類と生産地、銅製品の組成と幕末期の日本の技術についての講演会	-
	軟弱地盤上に防潮堤を築く～課題と解決策～	令和4年(2022年)8月	・防潮堤についての講演会	-
	市民公開シンポジウム2023 あらためて有明海の恵みの源「筑後川」の役割を考える	令和5年(2023年)2月	・東よか干潟ラムサールクラブの子どもたちによる1年間の活動成果発表会	-
	海洋プラスチック対策に関するイベント	令和4年(2022年)6月	・写真パネル展示	-
	科学の目で見た海洋プラスチック汚染について	令和4年(2022年)6月	・海洋プラスチック汚染について講演会	-
NPO 法人みなくるSAGA	東よか・トコめぐりサイクリング	令和4年(2022年)9月	・サイクリング	-
	ウォーキングしながら生き物観察と清掃活動	令和4年(2022年)10月	・清掃活動	-
佐賀県民環境部有明海再生・環境課	親子で思い出作り！海ごみのおはなしと海ごみアート教室	令和4年(2022年)8月 令和6年(2024年)7月	・海ごみを利用したアート作品作り体験	-
佐賀大学公認団体Green-Nexus	さすフェス	令和4年(2022年)9月 令和5年(2023年)9月 令和6年(2024年)8月 令和6年(2024年)9月	・出張水族館	-
さかのぎ	有明海の十三夜	令和4年(2022年)10月 令和6年(2024年)10月	・風景鑑賞 ・コンサート	-
東与賀公民館	東よか干潟(ラムサール登録湿地登録)夕暮れコンサート	令和6年(2024年)9月	・コンサート	-
シチメンソウまつり実行委員会	シチメンソウまつり	令和3年(2021年)10月～1月 令和4年(2022年)11月 令和6年(2024年)11月	・祭り	コロナウイルスのため令和2年(2020年)はWeb開催、令和3年(2021年)は中止

(2) 予測

1) 予測項目

人と自然との触れ合いの活動の場の予測項目及び影響要因とその内容については、表 8.13.1-6 に示すとおりである。

表 8.13.1-6 予測項目

項目	影響要因	予測項目
土地又は工作物の存在の供用	飛行場の存在	主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布及び利用環境の改変の程度
		利用性の変化
		快適性の変化

2) 予測概要

人と自然との触れ合いの活動の場の予測概要は、表 8.13.1-7 に示すとおりである。

表 8.13.1-7 予測の概要

予測の概要	
予測項目	主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度、利用性の変化、快適性の変化
予測手法	主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、事業計画や、本事業の実施による騒音等の環境影響の予測結果を勘案して、その分布及び利用環境の改変の程度を定性的に予測する方法とした。
予測地域・地点	調査地域のうち、人と自然との触れ合いの場の特性を踏まえて主要な人と自然との触れ合いの場に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域とした。
予測対象時期等	飛行場の存在による主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期とした。

3) 予測方法

人と自然との触れ合いの活動の場の予測方法は、図 8.13.1-2 に示すとおりである。

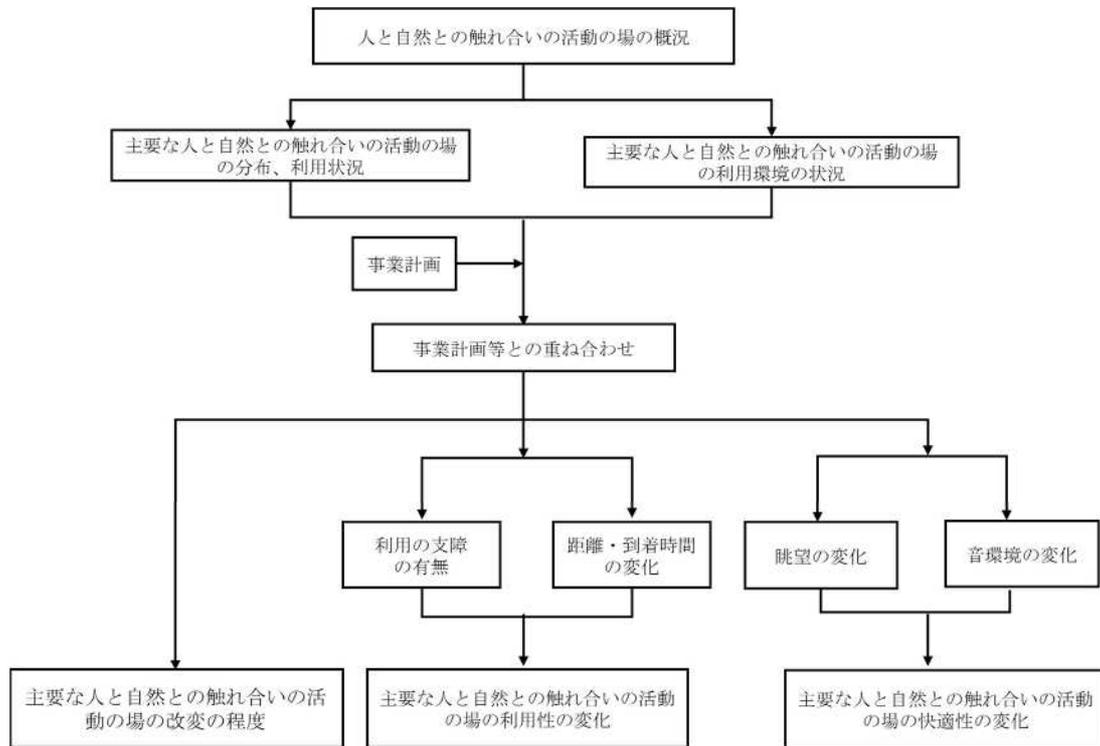


図 8.13.1-2 予測フロー図

7. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度

人と自然との触れ合いの場の分布状況と対象事業実施区域を重ね合わせ、改変の有無及び程度について予測した。

4. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化

主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化について、利用の支障の有無、到着時間・距離の変化の有無及び程度について予測した。

利用の支障については直接的な改変の有無を予測した。到着時間・距離の変化については活動の場に接近する道路の改変の有無及び交通量の変化を予測した。

6. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化

主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化について、眺望、音環境の変化の有無及び程度について予測した。眺望については人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況と対象事業実施区域との重ね合わせにより変化を予測した。音環境については、人と自然との触れ合いの活動の場と飛行経路又は滑走路との距離から、最大騒音レベルの変化の程度について予測した。

4) 予測結果

7. 佐賀空港公園

(7) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布及び利用環境の改変の程度

人と自然との触れ合いの活動の場の改変の有無について、佐賀空港公園は、直接的な改変は行われない。

そのため、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布及び利用環境の改変の程度に関しては、影響は極めて小さいと考えられる。

(4) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化

利用の支障の有無について、佐賀空港公園は直接的な改変は生じないことから、本事業の実施により利用に支障が生じることはない。

また、到着時間・距離の変化について、佐賀空港の将来の航空機離着陸回数の増加に伴って空港周辺の自動車交通量も増加することが想定されるが、将来交通量は表 8.13.1-8(1)及び(2)に示すとおり、県道 49 号線の平日及び休日の昼間で 6,735~8,111 台/日、夜間で 522~540 台/日であり、県道 30 号線の平日及び休日の昼間で 6,396~7,145 台/日、夜間で 313~372 台/日であり、日交通量は、道路構造令に示される一般道路等の設計基準交通量 9,000~12,000 台/日を下回っており、円滑に通行可能な交通量と考えられるため、影響は小さいと考えられる。

そのため、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化に関しては、影響は小さいと考えられる。

表 8.13.1-8(1) 予測に用いた交通量(平日)

予測地点	時間区分	現況交通量① (台/日)			交通量増加分 (台/日)		将来交通量② (台/日)			増加率 (②/①× 100) (%)
		大型車類	小型車類	合計	大型車類	小型車類	大型車類	小型車類	合計	
県道 49 号線	昼間	703	3,435	4,138	162	3,811	865	7,246	8,111	196.0%
	夜間	37	246	283	8	249	45	495	540	190.8%
南 11 区公民館 (県道 30 号線)	昼間	271	2,848	3,119	164	3,862	435	6,710	7,145	229.1%
	夜間	8	160	168	6	198	14	358	372	221.4%

注 1. 時間区分は、昼間(6時~22時)、夜間(22時~翌6時)である。

表 8.13.1-8(2) 予測に用いた交通量(休日)

予測地点	時間区分	現況交通量① (台/日)			交通量増加分 (台/日)		将来交通量② (台/日)			増加率 (②/①× 100) (%)
		大型車類	小型車類	合計	大型車類	小型車類	大型車類	小型車類	合計	
県道 49 号線	昼間	94	2,701	2,795	158	3,782	252	6,483	6,735	241.0%
	夜間	7	225	232	12	278	19	503	522	225.0%
南 11 区公民館 (県道 30 号線)	昼間	78	2,274	2,352	158	3,886	236	6,160	6,396	271.9%
	夜間	6	121	127	12	174	18	295	313	246.5%

注 1. 時間区分は、昼間(6時~22時)、夜間(22時~翌6時)である。

(ウ) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化

眺望の変化について、本事業は既に造成されている干拓地で空港の滑走路を延長するものであり、新たに海域の埋立等を行うことはなく、また高い構造物等を設置することもないため、その変化は生じない。

また、音環境の変化について、佐賀空港の将来の航空機離着陸回数の増加に伴い、航空機騒音の発生回数は増加することが見込まれるが、佐賀空港公園付近の航空機の飛行経路及び飛行高度は現在と大きく変わらないため、航空機通過時の騒音レベル(ピーク騒音レベル)は変わらない。そのため、現況からの変化の程度は小さい。

よって、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化に関しては、影響は小さいと考えられる。

4. 川副さくらロード

(ア) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布及び利用環境の改変の程度

人と自然との触れ合いの活動の場の改変の有無について、川副さくらロードは対象事業実施区域には含まれていないため直接的な改変は行われぬ。

そのため、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布及び利用環境の改変の程度に関しては、影響は極めて小さいと考えられる。

(イ) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化

利用の支障の有無について、川副さくらロードは直接的な改変は生じないことから、本事業の実施により利用に支障が生じることはない。

また、到着時間・距離の変化について、佐賀空港の将来の航空機離着陸回数の増加に伴って空港周辺の自動車交通量も増加することが想定されるが、将来交通量は前項で示した表 8.13.1-8 のとおりで、昼間で 6,396~8,111 台/日、夜間で 313~540 台/日であり、円滑に通行可能な交通量と考えられ、影響は小さいと考えられる。

そのため、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化に関しては、影響は小さいと考えられる。

(ウ) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化

眺望の変化について、本事業は既に造成されている干拓地で空港の滑走路を延長するものであり、新たに海域の埋立等を行うことはなく、また高い構造物等を設置することもないため、その変化は生じない。

また、音環境の変化について、佐賀空港の将来の航空機離着陸回数の増加に伴い、航空機騒音の発生回数は増加することが見込まれるが、川副さくらロード付近の航空機の飛行経路及び飛行高度は現在と大きく変わらないため、航空機通過時の騒音レベル(ピーク騒音レベル)は変わらない。そのため、現況からの変化の程度は小さい。

よって、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化に関しては、影響は小さいと考えられる。

ウ. コスモス園

(7) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布及び利用環境の改変の程度

人と自然との触れ合いの活動の場の改変の有無について、コスモス園は、直接的な改変は行われない。

そのため、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布及び利用環境の改変の程度に関しては、影響は極めて小さいと考えられる。

(4) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化

利用の支障の有無について、コスモス園は直接的な改変は生じないことから、本事業の実施により利用に支障が生じることはない。

また、到着時間・距離の変化について、佐賀空港の将来の航空機離着陸回数の増加に伴って空港周辺の自動車交通量も増加することが想定されるが、将来交通量は前項で示した表 8.13.1-8 のとおりで、昼間で 6,396～8,111 台/日、夜間で 313～540 台/日であり、円滑に通行可能な交通量と考えられ、影響は小さいと考えられる。

そのため、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化に関しては、影響は小さいと考えられる。

(ウ) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化

眺望の変化について、本事業は既に造成されている干拓地で空港の滑走路を延長するものであり、新たに海域の埋立等を行うことはなく、また高い構造物等を設置することもないため、その変化は生じない。

また、音環境の変化について、佐賀空港の将来の航空機離着陸回数の増加に伴い、航空機騒音の発生回数は増加することが見込まれるが、コスモス園付近の航空機の飛行経路及び飛行高度は現在と大きく変わらないため、航空機通過時の騒音レベル(ピーク騒音レベル)は変わらない。そのため、現況からの変化の程度は小さい。

よって、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化に関しては、影響は小さいと考えられる。

I. 柳川むつごろうランド

(7) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布及び利用環境の改変の程度

人と自然との触れ合いの活動の場の改変の有無について、柳川むつごろうランドは対象事業実施区域には含まれていないため直接的な改変は行われぬ。

そのため、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布及び利用環境の改変の程度に関しては、影響は極めて小さいと考えられる。

(イ) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化

利用の支障の有無について、柳川むつごろうランドは直接的な改変は生じないことから、本事業の実施により利用に支障が生じることはない。

また、到着時間・距離の変化について、佐賀空港の将来の航空機離着陸回数の増加に伴って空港周辺の自動車交通量も増加することが想定されるが、柳川むつごろうランドへのアクセスルートと異なるため、影響は極めて小さいと考えられる。

そのため、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化に関しては、影響は極めて小さいと考えられる。

(ウ) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化

眺望の変化について、本事業は既に造成されている干拓地で空港の滑走路を延長するものであり、新たに海域の埋立等を行うことはなく、また高い構造物等を設置することもないため、その変化は生じない。

また、音環境の変化について、佐賀空港の将来の航空機離着陸回数の増加に伴い、航空機騒音の発生回数は増加することが見込まれるが、柳川むつごろうランド付近の航空機の飛行経路及び飛行高度は現在と大きく変わらないため、航空機通過時の騒音レベル（ピーク騒音レベル）は変わらない。そのため、現況からの変化の程度は小さい。

よって、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化に関しては、影響は小さいと考えられる。

ホ. 干潟よか公園

(7) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布及び利用環境の改変の程度

人と自然との触れ合いの活動の場の改変の有無について、干潟よか公園は対象事業実施区域には含まれていないため直接的な改変は行われない。

そのため、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布及び利用環境の改変の程度に関しては、影響は極めて小さいと考えられる。

(4) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化

利用の支障の有無について、干潟よか公園は直接的な改変は生じないことから、本事業の実施により利用に支障が生じることはない。

また、到着時間・距離の変化について、佐賀空港の将来の航空機離着陸回数の増加に伴って空港周辺の自動車交通量も増加することが想定されるが、干潟よか公園へのアクセスルートと異なるため、影響は極めて小さいと考えられる。

そのため、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化に関しては、影響は極めて小さいと考えられる。

(ウ) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化

眺望の変化について、本事業は既に造成されている干拓地で空港の滑走路を延長するものであり、新たに海域の埋立等を行うことはなく、また高い構造物等を設置することもないため、その変化は生じない。

また、音環境の変化について、佐賀空港の将来の航空機離着陸回数の増加に伴い、航空機騒音の発生回数は増加することが見込まれるが、干潟よか公園付近の航空機の飛行経路及び飛行高度は現在と大きく変わらないため、航空機通過時の騒音レベル(ピーク騒音レベル)は変わらない。そのため、現況からの変化の程度は小さい。

よって、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の快適性の変化に関しては、影響は小さいと考えられる。

(3) 評価

1) 環境影響の回避又は低減に係る評価

7. 環境保全措置の検討

飛行場の存在による人と自然との触れ合いの活動の場への影響を低減するため、以下に示す緑化を講じることを前提として予測を実施した。（「8.1 予測の前提」参照）。

- ・周囲の景観との調和のため、滑走路延長部分の緑化(芝地・草地)に努める。

主要な人と自然との触れ合いの活動の場の変化を予測した結果、飛行場の存在により考えられる影響の程度は表 8.13.1-9 に示すとおりである。

表 8.13.1-9 予測結果の総括表

項目	影響要因	影響要素	影響の程度				
			佐賀空港公園	川副さくらロード	コスモス園	柳川むつごろうランド	干潟よか公園
土地又は工作物の存在及び供用	飛行場の存在	分布及び利用環境の改変の程度	◎	◎	◎	◎	◎
		利用性の変化	○	○	○	◎	◎
		快適性の変化	○	○	○	○	○

◎：影響はない又は極めて小さい ○：影響は小さい ×：影響が生じる可能性がある -：予測対象外

飛行場の存在による人と自然との触れ合いの活動の場への影響をさらに低減するための環境保全措置は特に講じない。

4. 環境影響の回避又は低減に係る評価

「8.1 予測の前提」に記載した緑化を講じることにより、飛行場の存在による人と自然との触れ合いの活動の場への影響の回避又は低減が期待できる。以上により、事業者の実行可能な範囲内で回避又は低減が図られているものと評価する。